

施策 1 2 4 ころと身体 の健康対策の推進

基本事業 1 2 4 0 1 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当 健康増進課)

県民の死因の6割を占める生活習慣病を減少させるため、予防施策の指標として策定した「三重県健康づくり基本計画」の推進により、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるような社会環境の整備を行います。

1 健康づくり総合推進事業

平成25年度から34年度までの10年間の計画期間とした「三重県健康づくり基本計画」の基本的方針である、地域住民の「健康寿命の延伸」と「幸福感を高める心身の健康感の向上」をめざし、伊勢志摩地域においても地域の健康課題の解決にむけ、市町保健行政や職域保健など関係各分野と情報共有及び情報交換の場を設けるとともに健康づくりの主要要素である栄養・運動・休養の啓発を主軸に社会資源の活用も図りながら、生活習慣病予防及び重症化予防を推進しています。

(1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業（メンタルヘルス・自殺対策を含む）を推進することを目的として、各分野（医師会、歯科医師会、事業所、NPO団体、食生活改善推進協議会、青年会議所、学校保健会、市町行政）代表からなる当懇話会を開催しました。

開催日	内 容	出席者
平成29年 9月7日(木)	① メンタルヘルス対策、受動喫煙防止対策、 糖尿病重症化予防事業について情報共有 ② 自殺予防講演会の共催計画 ③ 意見交換	委員 16人

(2) 市町訪問の実施

保健師の活動体制、地域の健康課題、在宅医療・介護の連携にかかる事業の現状について、各市町を訪問し情報共有および意見交換を実施しました。

訪問日	市町(場所)
平成29年6月 1日 (木)	玉城町保健福祉会館
平成29年6月 1日 (木)	大紀町役場
平成29年6月 6日 (木)	志摩市総合保健センター
平成29年6月13日 (火)	度会町役場
平成29年6月19日 (月)	南伊勢町役場
平成29年6月19日 (月)	伊勢市中央保健センター
平成29年6月30日 (金)	鳥羽市保健福祉センターひだまり

(3) テーマごとの推進

ア たばこ対策

喫煙対策は、防煙・分煙・禁煙支援の3本柱で展開し、公共の場における禁煙の推進や啓発、情報提供を実施しました。

- ・啓発：世界禁煙デー・禁煙週間に県伊勢庁舎玄関ロビーにおいて受動喫煙の防止や禁煙支援等について啓発物の展示や配付をしました。

イ 歯と口の健康づくりの支援

歯科口腔保健の推進に関する法律や条例が施行され法整備が進むなか、「8020推進月間」(11月)および「いい歯の日」(11月8日)に伊勢保健所事務所において、のぼりの設置、チラシの配付を行いました。

2 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成を図るため、食事バランスに対する理解と「食事バランスガイド」の活用に向けた普及啓発を行うとともに、多様な主体と協働し、食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進しました。

(1) 野菜フル350推進事業

食生活の現状をみると、県民の全ての年代で野菜の摂取が不足しており、生活習慣病予防の視点などから課題となっています。健康的な食生活が実践できるよう、1日の野菜摂取の目標量を350gとし、野菜摂取の増加(食事バランスガイドで副菜1つの増加)に焦点をあてた事業を推進しました。また、健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食における野菜摂取を推進しました。

ア 普及啓発等

日 時	内 容
① 平成29年6月	食育月間(6月)及び食育の日(19日)の啓発 場所：伊勢庁舎玄関ホール 対象：来庁者、職員 約80人 内容：「野菜を350g食べよう」をテーマに掲示及び啓発物を配布した。また、食育の日は庁内アナウンスを実施した。
② 平成29年 7月28日(金)	事業所における健康増進フェアでの啓発 場所：日本特殊陶業伊勢工場 対象：従業員198人 内容：「野菜を350g食べよう」をテーマにクイズや展示等
③ 平成29年 10月3日(金)	商品・くらしの活動交流会(コープみえ)での啓発 場所：三重県営サンアリーナ 対象：コープみえ会員(一般)178人 内容：「野菜を350g食べよう」をテーマにクイズや展示、啓発物品の配布

④ 平成 29 年 10 月 9 日 (月)	「福祉フェスティバル」における健康づくりに関する啓発 場所：県営サンアリーナ 対象：来場者 241 人 内容：食育コーナーのブースを出展し、野菜フル 350 や朝食摂取、栄養成分表示等に関する展示、体験コーナーや啓発物の配布
---------------------------	---

イ 健康教育

日 時	内 容
平成 30 年 1 月 26 日 (金)	水土里ネットみえ伊勢志摩支部研修会での講話 場所：伊勢シティホテル 対象：三重県土地改良事業団連合会 伊勢志摩支部 32 人 内容：講話「健康で長生きするための食事について」

(2) 「健康づくり応援の店」協働事業

ア 健康づくり応援の店の新規登録手続き及び随時訪問
登録店舗数 58 店舗 (平成 29 年度末)

イ 「いせしま健康もてなしの店」を通じた健康づくりの推進

伊勢志摩地域では、健康的な食環境の整備を図るため、平成 13 年度から、ヘルシーメニューの提供や栄養成分表示、健康情報発信等を通じて、健康を視点としたおもてなしを行う飲食店が「いせしま健康もてなしの店」として登録されています。(平成 29 年度末の登録店舗数 58 店舗)。

この「いせしま健康もてなしの店」登録店がそれぞれの持つ多彩な特色を活かし、情報を共有し、連携を進めることにより誰もが楽しく食事ができる店づくりを支援するとともに、健康情報を発信し、健康的な食環境整備を図りました。

ウ 「いせしま健康もてなしの店」推進委員会運営等への支援

開 催 日	内 容
平成 29 年 7 月 5 日 (水)	① 29 年度事業計画について ・ 研修会について ・ 糖尿病重症化予防について ② 健康づくり応援の店及びいせしま健康もてなしの店 新規登録申込について 等

エ 資質向上のための支援

開催日	内 容	参加者
平成 29 年 8 月 2 日 (水)	研修内容:食物アレルギーについて 場所:伊勢庁舎 401 会議室 ※ 伊勢保健所給食施設従事者研修会 と合同開催	いせしま健康も てなしの店関係 者 9 人

オ その他支援

ホームページへの掲載と随時更新

<http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/76862045739.htm>

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設等指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設の栄養管理に関する指導支援を実施するとともに、非常時の食料備蓄や対応マニュアルの整備状況の確認を重点的に行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました。

ア 給食施設巡回指導

区 分	管理栄養士配置 の知事指定施設	特定給食施設施設 (知事指定を除く)	一般給食施設	合 計
実施施設数	4	26	23	53

イ 給食施設個別相談・指導

相談・指導件数 8 件

ウ 給食施設従事者研修会

開 催 日	内 容	参加者
平成 29 年 8 月 2 日 (水)	【午前の部】 ・ワークショップ 「災害発生時の食事対応に関するフロー図・マニュアルの作成」 講師 伊勢保健所 健康増進課職員	41 人
	【午後の部】 ・講演 内容：「給食施設における食物アレルギーについて」 講師：食事生活アドバイザー (元国立病院機構 三重病院 栄養士) 森谷 尚子 氏 ・グループワーク 「自施設における災害時の食事提供訓練の実施に向けて」 場所：伊勢庁舎 401 会議室	112 人

(2) 栄養表示等の指導支援

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、栄養表示基準及び食品表示基準にかかる相談・指導を行いました。

・特別用途食品・栄養表示等の相談・指導

相談・指導件数 1 2 6 件

(3) 調査事業

身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得るために行いました。

- ・平成 29 年国民健康・栄養調査 伊勢市上地町 22 世帯 50 人

(4) 栄養相談指導事業

栄養相談のニーズに応じて個別の栄養指導を行いました。

対 象	妊産婦	乳幼児	20 歳未満	20 歳以上	合 計
件 数	0	0	0	6	6

(5) 人材育成・支援

ア 市町栄養士支援

- ・市町保健・福祉行政栄養士連絡調整会議の開催 年間 3 回
主な取組：「災害時の栄養・食支援について」課題取組、情報交換等
- ・講演会の開催 1 回
内容「保育所における感染症蔓延防止対策について」

イ 地域活動栄養士活動支援

- ・情報提供・情報交換会等 年間 12 回

ウ 食生活改善地区組織活動支援

- ・組織運営及び活動支援等 7 回
- ・講演会の開催 1 回
内容「感染症胃腸炎（ノロウイルス等）の予防について」
- ・研修会開催及び支援 2 回
内容
 - ①「食生活改善推進協議会の地区組織活動について」
 - ②「高齢者の摂食・嚥下の特徴について」
「高齢者の食事と栄養のとりかた」

※「こころの健康づくり」については本節基本事業 1 2 4 0 3 に、人材育成としての管理栄養士学生臨地実習は本節基本事業 1 2 1 0 2 に掲載しています。

基本事業 12403 心の健康づくりの推進 (主担当 健康増進課)

社会環境の複雑化に伴い、地域ではさまざまな心の健康問題が起こっています。心の交流を豊かにすることで住民が地域で孤立せず、誰もが住み良い地域づくりをめざして各事業を実施しています。

1 対面相談支援事業

(1) 精神科医師による心の健康相談

回数：6回

開催場所：伊勢庁舎 (内2回は志摩庁舎)

利用件数：11件

(2) 保健師による心の相談

自殺関連17件 (うち1件訪問)、自死遺族支援16件 (うち3件訪問)

2 人材育成事業

(1) ストレス対処研修

対 象	回 数	人 数
一般住民	1	81
関連機関職員	1	56
合 計	2	137

(3) スキルアップ研修

対 象	回 数	人 数
相談支援関係者	9	255

3 普及啓発事業

(1) 自殺予防講演会

* 3月からの自殺対策強化月間に合わせ、伊勢市との共催にて実施

開 催 日	内 容 及 び 対 象	人数
平成30年3月14日	(講演) 「若者への精神保健教育への取組について」 (講師) 三重県立こころの医療センター (ユース・メンタルサポートセンターMIE) 精神保健福祉士 山本 綾子氏 (対象) 学校関係者、保健師、社会福祉士、 民生委員等	30

(2) 自殺予防週間啓発

開 催 日	内 容
平成 29 年 9 月 10 日 ～ 9 月 16 日	・ 県伊勢庁舎玄関ロビーにコーナーを設置し、「自殺予防週間」啓発のため、ポスター掲示及びポケットティッシュの設置配布を行った。 ・ 月間を通じて保健所窓口に啓発用ポケットティッシュを設置し啓発を行った。

(3) 自殺対策強化月間啓発

実 施 期 間	内 容
平成 30 年 3 月 1 日	・ ミタス伊勢（主にバロー）において街頭啓発 啓発物品の配布と「自殺対策強化月間の呼びかけ」
平成 30 年 3 月 1 日 ～ 3 月 15 日	・ 庁舎内に啓発コーナーを設置 のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布

(4) ホームページによる自殺予防啓発

自殺予防講演会、自殺予防週間、自殺対策強化月間についてホームページに掲載し、広く住民への情報提供を行った。

4 関係機関との連携等

(1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

ア 日時：平成 29 年 9 月 7 日（木）午後 3 時から午後 4 時 30 分

イ 内容：メンタルヘルス対策、受動喫煙防止対策、糖尿病重症化予防事業について情報共有

(2) その他

自殺予防講演会、及び自殺対策強化月間の街頭啓発において、伊勢市の協力を得ながら実施した。

基本事業 1 2 4 0 4 難病対策の推進

(主担当 地域保健課・衛生指導課)

難病患者の病気や日常生活に対する不安の軽減を図るため、保健所において特定医療費受給申請時に面接を行い状況を把握します。

また、保健師などによる家庭訪問を実施し、患者の病状変化に応じた援助を行い、地域における支援体制の充実を図ります。

1 難病対策の状況

「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、原因が明らかでなく治療困難でかつ長期の療養を必要とする難病患者の医療費の負担軽減を図るとともに、患者および家族等への療養支援や生活支援を行い精神的・身体的不安の軽減を図りました。

また、先天性血液凝固因子障害等の患者に対し、医療費の公費負担を行い精神的・身体的不安の解消を図りました。

(1) 特定医療費受給者の状況

患者数が少なく治療が極めて困難であり、長期の療養を要し、高額な治療費を必要とする難病法に基づき指定された330疾患のうち下記の疾患患者について医療費の自己負担を軽減し治療の促進を図りました。

平成30年3月31日現在

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
1	球脊髄性筋萎縮症	1	0	1	0	0	0	0	2
2	筋萎縮性側索硬化症	12	2	7	0	0	0	2	23
5	進行性核上性麻痺	6	1	2	4	0	2	2	17
6	パーキンソン病	139	23	47	11	7	11	22	260
7	大脳皮質基底核変性症	5	2	1	0	0	0	0	8
8	ハンチントン病	4	0	0	0	0	0	0	4
11	重症筋無力症	26	2	13	2	0	4	1	48
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	31	0	4	3	2	0	2	42
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 ／多巣性運動ニューロパチー	5	1	4	1	1	0	2	14
15	封入体筋炎	0	1	0	0	0	0	0	1
17	多系統萎縮症	8	3	5	1	2	0	0	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	25	9	15	4	1	3	5	62
19	ライソゾーム病	1	0	0	0	0	0	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	1	0	0	0	0	1
21	ミトコンドリア病	0	0	0	0	0	0	1	1
22	もやもや病	8	3	2	1	3	0	0	17

番号	市町名 疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
23	プリオン病	1	0	0	0	0	0	0	1
24	亜急性硬化性全脳炎	1	0	0	0	0	0	0	1
26	HTLV-1関連脊髄症	0	1	1	0	0	0	0	2
27	特発性基底核石灰化症	0	0	1	0	0	0	0	1
28	全身性アミロイドーシス	2	1	0	0	1	0	0	4
34	神経線維腫症	3	1	2	0	0	0	0	6
35	天疱瘡	3	0	2	0	0	1	0	6
36	表皮水疱症	0	0	1	0	0	0	0	1
37	膿疱性乾癬	0	0	1	2	0	0	2	5
38	スティーブンス・ジョンソン症候群	1	0	0	0	0	0	0	1
40	高安動脈炎	3	0	1	0	0	0	0	4
42	結節性多発動脈炎	5	0	1	0	0	0	1	7
43	顕微鏡的多発血管炎	5	0	1	1	1	0	1	9
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	2	1	0	0	1	1	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	0	0	0	0	0	1
46	悪性関節リウマチ	14	2	7	1	1	1	1	27
47	バージャー病	2	0	2	0	0	0	1	5
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	0	0	0	0	0	0	2
49	全身性エリテマトーデス	47	10	22	7	3	1	6	96
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	27	6	15	1	1	2	4	56
51	全身性強皮症	39	4	19	2	0	5	8	77
52	混合性結合組織病	7	1	5	0	1	0	3	17
53	シェーグレン症候群	17	3	8	0	0	1	4	33
54	成人スチル病	1	0	0	0	0	0	0	1
55	再発性多発軟骨炎	0	0	1	0	0	0	0	1
56	ベーチェット病	17	5	7	2	1	0	0	32
57	特発性拡張型心筋症	43	8	24	2	3	4	9	93
58	肥大型心筋症	6	0	3	1	0	0	2	12
60	再生不良性貧血	7	3	3	0	1	0	0	14
61	自己免疫性溶血性貧血	0	0	0	1	0	0	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	13	0	4	2	0	0	2	21
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	1	0	0	0	0	0	1
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	1	0	2
66	IgA 腎症	6	0	1	0	1	0	0	8
67	多発性嚢胞腎	5	2	1	0	0	0	2	10

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
68	黄色靱帯骨化症	5	0	3	0	2	0	2	12
69	後縦靱帯骨化症	46	6	15	7	4	4	6	88
70	広範脊柱管狭窄症	1	0	2	0	0	2	2	7
71	特発性大腿骨頭壊死症	8	3	3	0	0	1	0	15
72	下垂体性ADH分泌異常症	6	2	3	0	2	0	0	13
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8	1	2	0	0	0	0	11
75	下垂体性ACTH分泌亢進症	1	0	0	0	0	0	0	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	3	1	0	0	1	0	0	5
78	下垂体前葉機能低下症	10	1	3	0	1	0	2	17
82	先天性副腎低形成症	0	0	0	0	0	0	1	1
83	アジソン病	0	0	1	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス	21	3	16	3	2	3	1	49
85	特発性間質性肺炎	17	6	12	2	1	2	4	44
86	肺動脈性肺高血圧症	1	0	0	0	0	1	0	2
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3	1	0	0	0	0	0	4
90	網膜色素変性症	23	6	15	11	4	3	6	68
93	原発性胆汁性胆管炎	47	6	17	5	7	2	3	87
94	原発性硬化性胆管炎	1	0	1	0	0	0	0	2
95	自己免疫性肝炎	3	0	1	0	0	0	0	4
96	クローン病	34	3	6	4	3	5	0	55
97	潰瘍性大腸炎	122	15	49	11	7	7	13	224
98	好酸球性消化管疾患	0	1	0	0	0	0	0	1
113	筋ジストロフィー	6	4	1	2	0	0	3	16
119	アイザックス症候群	0	0	1	0	0	0	0	1
127	前頭側頭葉変性症	2	0	0	0	0	0	0	2
161	家族性良性慢性天疱瘡	1	0	1	0	0	0	0	2
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	8	1	2	0	0	1	1	13
171	ウィルソン病	2	0	0	0	0	0	0	2
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	1	0	0	0	0	1
210	単心室症	1	0	0	0	0	0	0	1
215	ファロー四徴症	2	0	1	0	0	0	0	3
220	急速進行性糸球体腎炎	1	0	1	0	0	0	0	2
222	一次性ネフローゼ症候群	9	0	2	1	0	0	1	13
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	0	0	0	0	0	1
224	紫斑病性腎炎	1	0	0	0	0	0	0	1

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0	0	1	0	0	0	0	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	1	0	0	0	0	1
256	筋型糖原病	0	0	0	1	0	0	0	1
271	強直性脊椎炎	4	1	6	0	0	0	1	12
283	後天性赤芽球癆	1	0	0	0	0	0	0	1
289	クローンカイト・カナダ症候群	1	0	0	0	0	0	0	1
300	I g G 4 関連疾患	2	0	0	0	0	0	0	2
306	好酸球性副鼻腔炎	5	1	4	0	0	0	0	10
合 計		958	159	407	96	64	68	130	1,882

（２）特定疾患治療研究事業

平成30年3月31日現在

① スモン治療受給者状況 3件

② 先天性血液凝固因子障害治療受給者状況

番号	病 名	件 数
1	第Ⅰ因子（フィブリノゲン）欠乏症	—
2	第Ⅱ因子（プロトロピン）欠乏症	—
3	第Ⅴ因子（不安定因子）欠乏症	—
4	第Ⅶ因子（安定因子）欠乏症	—
5	第Ⅷ因子欠乏症（血友病A）	9
6	第Ⅸ因子欠乏症（血友病B）	1
7	第Ⅹ因子（スチュアートブラウア因子）欠乏症	—
8	第ⅩⅢ因子（フィブリン安定化因子）欠乏症	—
9	Von Willebrand（フォン・ヴィルブラント）病	5
合 計		15

2 難病在宅ケア事業

- ・ 難病患者の療養生活を支援し、QOLの向上を目指します。
- ・ 在宅患者及び家族の在宅ケアの充実を図ります。
- ・ 各関係機関との連携を強化していくことにより、地域支援体制の基盤を作ります。

(1) 特定医療（指定難病）申請時等面接の実施

患者個々の状況や療養上の困りごと及び問題点を明確にし、必要なケアを行うため、申請手続に来所した患者・家族に対し面接及び電話による相談支援を行いました。

新規申請 : 316件
個別面接 : 延べ 46人
電話相談 : 延べ235人

(2) 訪問相談等の実施

主に筋萎縮性側索硬化症等の神経筋疾患患者および家族等への訪問による療養支援及び生活支援を行いました。

訪問人数 : 延べ30人（実人員 12人）

(3) 医療相談事業

日時：平成29年11月8日(水) 13時30分～15時30分

場所：三重県伊勢庁舎 1階別館

対象：特定医療費受給者

参加人数：患者家族 26名 関係者 3名 計 29名

内容：ア 個別相談

伊勢赤十字病院	理学療法士	松並 峰子 氏
	言語聴覚士	松山 由紀子 氏
合同会社たまきあい	社会福祉士	西村 美紀子 氏
難病相談支援センター	センター長	河原 洋紀 氏
ハローワーク伊勢	上席職業指導官	森 知美 氏
NPO法人CTF松阪		
伊勢保健所	保健師	
(相談件数)		
理学療法士	9件	
言語聴覚士	8件	
社会福祉士	2件	
センター	7件	
ハローワーク	3件	
NPO法人CTF松阪	6件	
保健所	2件	計37件

イ 展示コーナー

意思伝達装置の展示、デモンストレーション

3 肝炎治療特別促進事業

B型、C型肝炎のウイルス除去を目的に、抗ウイルス治療（インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療）にかかる医療費の自己負担の軽減を図りました。

（平成20年4月1日から事業開始）

(1) 公費負担医療状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

区 分	申請件数	承認
インターフェロン治療（3剤併用療法除く）	0	0
インターフェロンフリー治療	52	52
核酸アナログ製剤治療（新規）	21	21
核酸アナログ製剤治療（更新）	133	133
合計	206	206

4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾に被爆し、今なお特別な状況にある者に対して、医療特別手当の支給等の措置を講じ、その福祉の向上を図るとともに、健康診断及び医療費助成を行い、健康の保持を図りました。

(1) 健康手帳交付、手当受給状況 平成30年3月31日現在（単位：人）

区 分		市町名	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
健康手帳 交付状況	男		10	3	9	2	0	0	3	27
	女		10	3	6	1	0	0	0	20
	計		20	6	15	3	0	0	3	47
各 種 手 当	医療特別手当		0	0	1	0	0	0	0	1
	特別手当		0	0	1	0	0	0	0	1
	保健手当		3	1	0	0	0	0	0	4
	健康管理手当		17	5	13	3	0	0	3	41
	葬祭料※		(4)	(1)	(2)	0	0	0	(0)	(6)
	計		24	6	18	3	0	0	3	53

※葬祭料については、平成29年度年間の死亡者数としました。

(2) 健康診断受診者状況

(単位：人)

定期健康診断	検査項目	一般検査	肝機能検査	ヘモグロビンA1c
	第1回春	19	19	17
	第2回秋	21	19	9

がん検診 (希望による)	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性 骨髄腫
	4	4	2	0	4	4

5 骨髄バンク事業

骨髄移植とは、白血病や再生不良性貧血などの血液難病におかされた患者の骨髄幹細胞を骨髄提供者（ドナー）の健康な骨髄幹細胞に入れ替える（実際は骨髄液を点滴静注する）治療のことです。しかし、移植のためには、患者とドナーのヒト白血球型抗原であるHLA型が一致しなければなりません。一致する確率は兄弟姉妹型で4分の1です。しかし、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者間では、さらに数百～数万分の1の確率でしか一致しません。

このため、各種イベント会場等において「三重県骨髄バンク推進連絡協議会（勇気の会）」等関係団体の協力を得て骨髄バンク登録の啓発を図るとともに、献血ルーム「ハートワン」と臨時登録会で骨髄提供希望者の登録受付を行っています。

(1) イベント会場での啓発活動の実施

ア 献血ページェント

実 施 日	場 所
平成 29 年 7 月 9 日(日)	イオンタウン伊勢ララパーク
平成 29 年 7 月 25 日(火)	鳥羽ショッピングプラザハロー
平成 29 年 12 月 16 日(土)	日本赤十字社伊勢赤十字病院
平成 30 年 3 月 21 日(水)	イオン阿児店

(2) 骨髄提供者登録受付

ア 臨時登録受付

登録者 15 名

実 施 日	場 所	登録者数
平成 29 年 7 月 9 日(日)	イオンタウン伊勢ララパーク	4
平成 29 年 7 月 25 日(火)	鳥羽ショッピングプラザハロー	0
平成 29 年 12 月 16 日(土)	日本赤十字社伊勢赤十字病院	9
平成 30 年 3 月 21 日(水)	イオン阿児店	2